

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0502018

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載          雄武町敬老会賄費等助成事業要綱
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 介護サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	敬老会賄費等助成事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	自治会等	関係課	#N/A	
事業指標	助成対象人員		#N/A	
事業目標	全対象者への助成	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	1 各自治会等(主催)	関係例規・法令名	1 ⇒	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	○敬老会賄費助成 75歳以上 2,000円	敬老会賄費助成	敬老会賄費等助成	敬老会賄費等助成	敬老会賄費等助成	敬老会賄費等助成	
	事業費(千円)	7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	7,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,320	1,448	1,504	1,356	1,434	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	7,320	1,448	1,504	1,356	1,434	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 724人×2,000円 (75歳以上 2,000円)	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 752人×2,000円 (75歳以上 2,000円)	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 678人×2,000円 (75歳以上 2,000円)	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 717人×2,000円 (75歳以上 2,000円)	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 789人×2,000円 (75歳以上 2,000円)	
	【評価・実績】	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	750人	750人	全対象者への助成	全対象者への助成	全対象者への助成
		年度達成率	97%	100%	90%	96%	105%
	全体達成率	19%	39%	57%	77%	98%	

事業名 敬老会賄費等助成事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
	評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	磯田昭次

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	満75歳以上の高齢者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	助成対象人数								
【抱える課題やニーズは】	人口の高齢化が進み、高齢者等が健康で安心して暮らせる長寿社会づくりが望まれている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	長寿を祝福し、長年の労を労い、敬老思想の高揚に繋げていく。	① 助成実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>789名</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>789名</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	789名	実績値	789名	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	789名										
実績値	789名										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	長年にわたり社会に貢献された高齢者に対して敬意を表し、地域における敬老精神の高揚に寄与する。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	敬老会賄費の助成	満75歳以上の高齢者数を把握し、自治会長等に確認を行い、自治会等における人数を確定させたうえで、賄費を助成した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	敬老の節目を迎える高齢者に対し、敬老会を開催し長寿を祝福することは、長年の労苦に対する敬老思想の高揚を図るため必要性が高い。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部/一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	敬老会に係る賄費を助成することで、高齢者自らが健康増進に努める意欲の向上が図られ、敬老会の開催などで町民の敬老思想の高揚が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	敬老会賄費の助成については、雄武町敬老会賄費等助成事業要綱に基づき実施している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	各自治会が実施する敬老会等に対して助成しているので公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

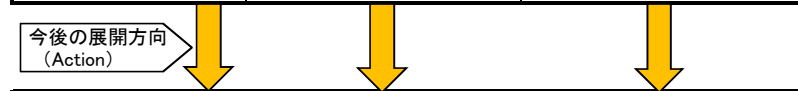
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
高齢者自らの健康増進に努める意欲の向上のため敬老会の開催に係る賄費の助成は必要性が高く、高齢者福祉の向上を図るうえでも適当である。		



継続/現状維持
敬老会の開催は、敬老の節目を迎える高齢者や自治会にも受け入れられており、最低限の助成は確保すべきと考えられ、現状維持が適当である。

※展開方向の区分